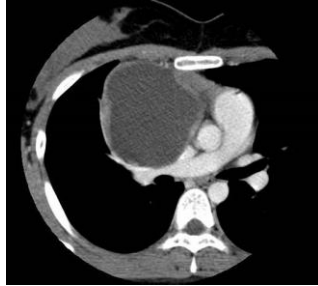
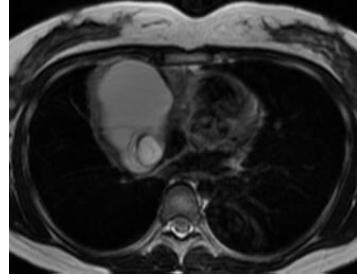


【胚細胞腫瘍】

①良性胚細胞腫は成熟型奇形腫や未熟型奇形腫を指すことが多く、概ねは外科的切除を行います。



成熟型奇形腫 CT



成熟型奇形腫 MRI



成熟型奇形腫

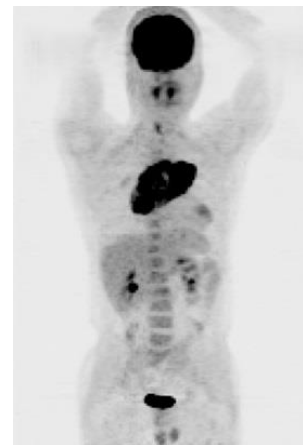
②縦隔悪性胚細胞腫瘍は若年男性に多く、前縦隔に発生します。CT ガイド下で組織診断を行い、セミノーマ（精上皮腫）または非セミノーマに分類されます。血中の腫瘍マーカー（AFP や β HCG）の測定を行い、化学療法を行います。腫瘍マーカーが正常化し、腫瘍が縮小した場合には手術を行います。手術後に放射線治療や抗がん剤治療を追加することが必要になる場合があります。



胸部レントゲン画像



CT 画像



PET/CT

【嚢胞性腫瘍（先天性嚢胞）】

薄壁の袋の中に液体成分が満ちた腫瘍で、先天性に生じたものが多く、基本的に良性腫瘍です。小さいものは経過観察でよく、手術は必要ありません。しかし、中には増大傾向を示すものや、壁の一部に腫瘍（癌の発生）を認めて手術に至る場合があります。種類としては胸腺嚢胞、気管支嚢胞、心膜嚢胞などがあります。大きな嚢胞性腫瘍は悪性の兆候がなくても切除を勧めることもあります。手術は胸腔鏡やロボット手術などで行います。

【神経原性腫瘍】

交感神経幹（自律神経）由来の腫瘍は後縦隔に好発します。

基本的には良性腫瘍ですが、まれに悪性腫瘍もあります。

良性腫瘍であれば、当科では胸腔鏡やロボット手術で切除します。



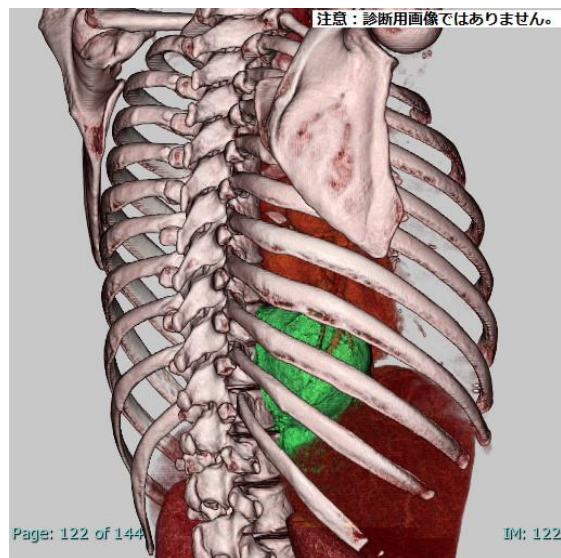
神経鞘腫 CT



交感神経幹由来 神経鞘腫



巨大神経鞘腫 CT



巨大神経鞘腫 3D/CT